

粕屋町の現状について





粕屋町の概況

◎ 福岡都市圏に位置し、交通利便性が高い



- ・福岡県の北西部に位置し、福岡市の東部に隣接
- ・縦横にJR篠栗線（福北ゆたか線）、JR香椎線が貫く（6 駅）
- ・国道201号、福岡都市高速道路4号線、九州自動車道が走る

- ・福岡市とのアクセス
JR： 県庁（約8分）、JR博多駅（約10分）
車： 福岡空港（約15分）、博多港（約20分）



粕屋町の概況

- ◎ 買い物など、生活利便性がよい



大型商業施設「イオンモール福岡」のほか
スーパーやディスカウントストアなども充実



- ◎ 駕与丁公園を中心に、豊かな自然が多く残っている

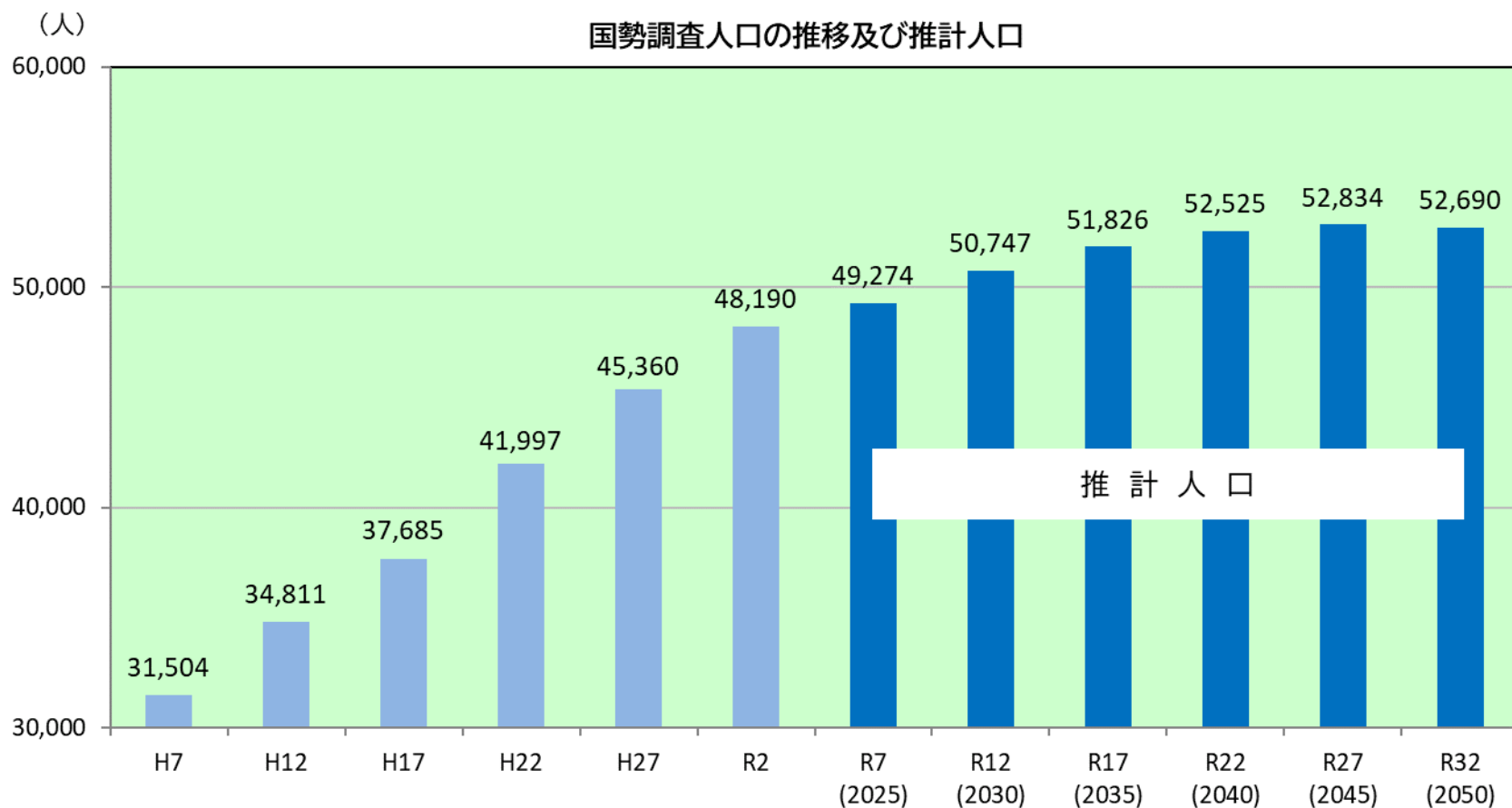


都市機能（便利さ）と自然が調和しているまち



人口の推移

右肩上がり増加しており、令和12年には5万人に到達すると推計されている



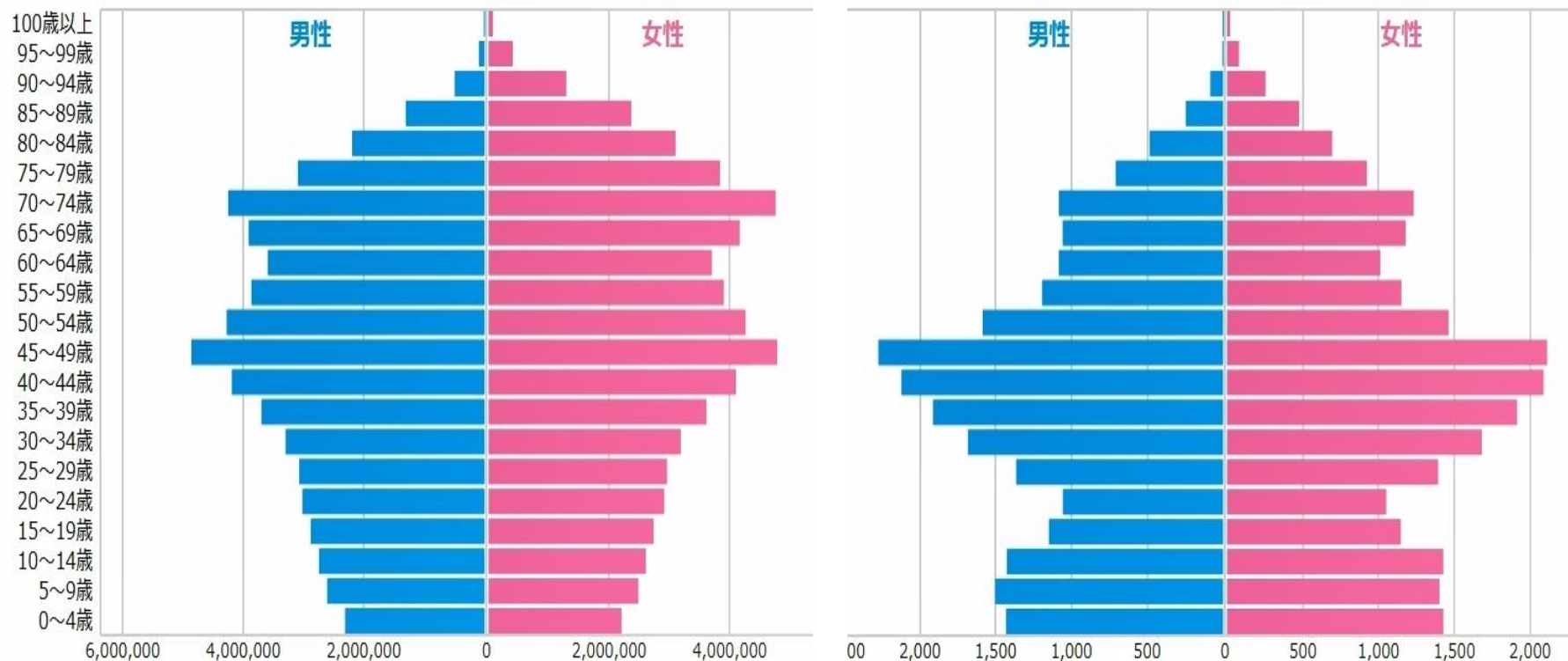


人口ピラミッド (2020年国勢調査)

人口ピラミッドは星型で、子育て世代が多い

【全 国】

【粕屋町】

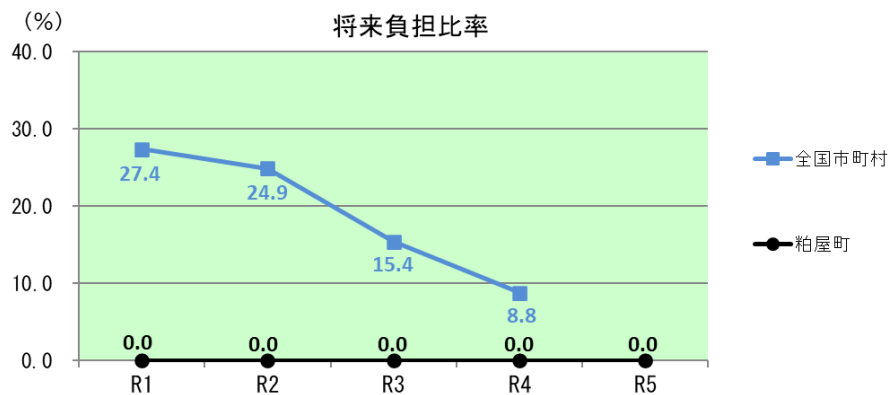
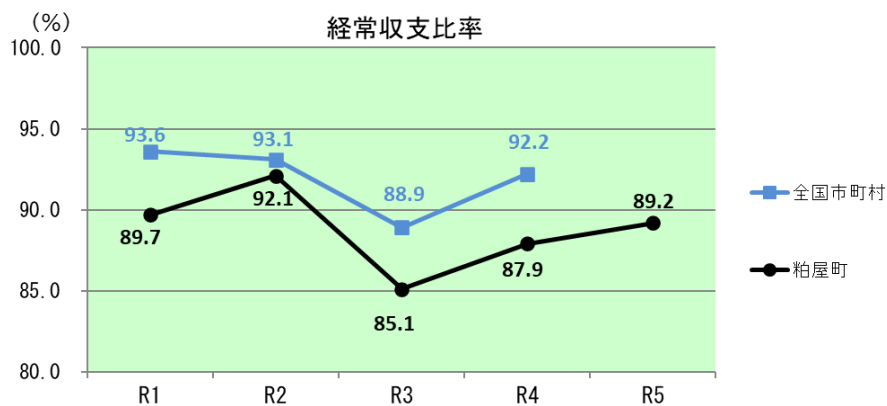
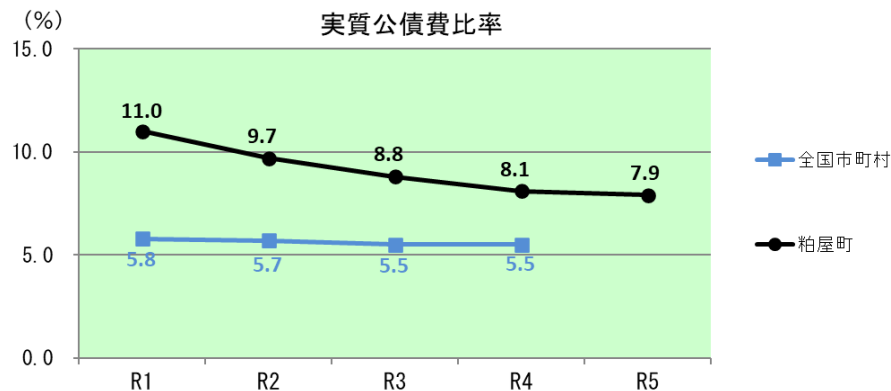
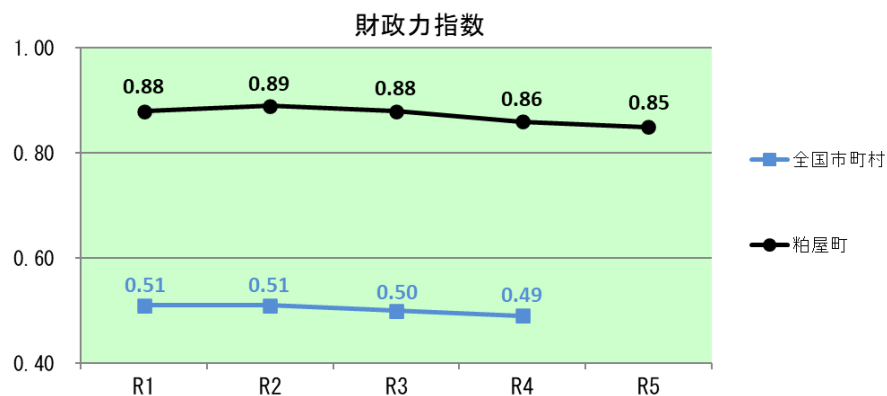


	全 国	粕屋町
老年人口 (65歳以上)	28.01%	17.67%
生産年齢人口 (15歳~64歳)	60.13%	63.15%
年少人口 (0歳~14歳)	11.86%	17.88%



財政状況

財政指標は良好な値を示し、健全な財政運営が行われている



財政力指数 ⇒ 自治体の財政力を表し、高いほど財源に余裕があるとされる
 経常収支比率 ⇒ 財政の柔軟性を表し、高いほど財政的に余裕がないとされる

実質公債費比率 ⇒ 借金返済のためのお金の大きさを表し、高いほど資金繰りが厳しいとされる
 将来負担比率 ⇒ 将来負担すべきお金の大きさを表し、高いほど将来の財政を圧迫するとされる



子育て支援の取組

子育て支援の充実に力を入れており、合計特殊出生率は全国トップレベル

◎かすやこども館の設置

平成28年度に児童館と子育て支援センターの機能を併せ持つ「かすやこども館」を開設。

◎中央保育所の建替え

老朽化した中央保育所を、令和5年度に木のぬくもりが感じられる温かみのある園舎へと建替え。

◎小中学校体育館への空調設置

児童生徒の熱中症対策や災害発生時における避難所の生活環境改善のため、町内全ての小中学校の体育館の空調整備を実施。
(令和6年度完成予定)

◎子ども見守りシステムの整備

令和3年度から町内の全小学生に見守り端末を配布し、地域全体で子どもの見守りを強化。

◎その他の子育て支援の取組

子ども医療費の助成拡大や英検検定料の助成開始など、様々な子育て支援の充実に取り組んでいる。



令和5年 **合計特殊出生率 1.90** (全国の市区町村中**29位**)

※国：1.20、福岡県：1.26



地域公共交通対策の取組

交通利便性のさらなる向上のため、地域公共交通体系の整備を推進

◎JR駅的环境整備

酒殿駅前・長者原駅前にトイレや駐輪場、シェルター等を整備し、長者原駅構内にデジタルサイネージを設置するなど、駅周辺的环境整備を推進。

◎JR九州と包括連携協定の締結

駅などの交通拠点を中心とした集約型のまちづくりを進めるため、令和6年5月に町村では初（当時）となるJR九州との包括連携協定を締結。粕屋町とJR九州が連携することで交通利便性やまちの魅力の向上を目指している。

◎ふれあいバス（福祉巡回バス）の充実

平成5年度からの運行開始以降、巡回コース・バス停の増設や土日祝日運行の開始、バス停へのベンチ設置などに加え、近年ではイオンモール福岡へのシャトルバスの運行開始など、サービスを拡充。

◎新モビリティサービスの導入検討

住民の皆様のモビリティを確保するため、AIオンデマンドバスなどの新たな移動手段の導入を検討。





市制施行に向けた取組

将来の市制施行を目指して「市制対策室」を設置し、シティプロモーション事業を展開

- 本町の人口は年々増加しており、いずれ市制の要件である人口5万人に到達することが予想されたため、将来の市制施行を見据え、平成30年度から市制に関する調査研究を実施。
- 令和4年度に町民意識調査を実施したところ、粕屋町が市になることについて、約85%が「よいと思う」と回答。
- 令和5年3月末時点の人口（48,828人）が5万人に迫ってきたことから、令和5年度を「市制対策のスタート元年」と位置づけ、令和5年4月に役場内に「市制対策室」を設置。
- 人口増加（49,000人、49,500人区切り等）に応じて研修会やタウンミーティングなどを計画していたが、人口の伸びが鈍化しているため、町の認知の獲得とイメージアップを図ることを目的として、現在、シティプロモーション事業に注力。

シティプロモーションの取組

- 町の魅力を町内外に広く発信するため、若年層向けに縦型のPRショートドラマ「だって、粕屋町やもん。」全5話を制作し、公式Instagramで配信。粕屋町の利便性の良さを紹介した第1話は25万回再生を記録。
- 粕屋町の暮らしを感じることができるPR動画を制作し、公式YouTubeチャンネルで配信。また、「かすやのトリコ」のロゴを制作し、様々なイベントの場において活用。
- アビスパ福岡やライジングゼファー福岡などプロスポーツチームと連携したプロモーションを展開。



KASUYA Town  City Promotion

かすやのトリコ



粕屋町シティプロモーション
公式Instagram

